

令和4年第1回滝川市議会定例会市政執行方針等に対する質問

質問順位	1	質問者	寄谷猛男議員		
件名	項目	要旨		メ	モ
1. 市政運営の基本的な考え方	1. 新文化センター建設に向けた市民の声の集約について	1. 新文化センターの建設に向け、地域ごとの公聴会の開催などどのような形で市民の声を聞くのか構想を伺う。			
	2. 新滝川市総合計画について	1. 総合計画の策定は、想定される人口減少に沿ったまちづくりだけでなく、都市機能を維持するために人口減少の流れに抗うプラン作りでもあると思います。新滝川総合計画の策定にあたり、本市の都市機能の維持に必要と想定する下限の人口数や人口構成、そのために重要と考える対策などを伺う。			
2. 元気な産業と活力あるまちづくり	1. 産業の育成と地域おこし協力隊員の活動支援について	1. 滝川クラフトビール工場の運営を担う醸造士を育成するため、地域おこし協力隊員を募集するとともに、採用後の活動を支援しているが、製造場所が地元というだけではブランドの持続は難しく、原材料の産地化など地域に根付き幅広く結びついた産業として育成すべきと思うが、どのような支援策を考えているのか伺う。			
3. 豊かな資源を活かした魅力あふれるまちづくり	1. 道の駅たきかわの支援について	1. 道の駅たきかわの現在の集客状況と課題について市はどのように把握しているのか伺う。また、具体的な支援策について伺う。			

質問順位	1	質問者	寄谷 猛 男 議員		
件名	項目	要 旨		メ	モ
4. 機能的な生活基盤の充実したまちづくり	1. 子育て世帯の住環境の充実について	<p>1. 子育て世帯の住環境の充実を図るため、子育て世帯の東団地跡地購入に対する優遇措置を引き続き実施するとしている。</p> <p>しかし、子ども数に比べ小学校の規模や学童保育などの施設が狭いままでは子育ての環境は良好とはいえない。東町周辺に子育て世帯を呼び込む考えなら子育て環境の充実も同時に進める必要があると思うが、見解を伺う。</p>			
5. 誰もが住みよい安全安心なまちづくり	1. 地域公共交通について	<p>1. (仮称) 中空知地域公共交通活性化協議会に構成市町として参加し、中空知圏域の地域旅客運送サービスの今後を描く「中空知地域公共交通計画」を策定するとしている。</p> <p>滝川市内にとどまらず広域で検討する意義について伺う。</p>			
	2. 高齢者福祉について	<p>1. 高齢者が住み慣れた地域で自立した日常生活を営み、安心して住み続けられるまちを目指し、高齢者の自立支援や重度化防止などに向けた介護予防の取り組み・認知症本人及び家族への支援の充実を一層推進するとしている。</p> <p>国や道の施策だけでは万全とはいえない。補聴器の費用補助など市独自の積極的な施策も重要と思うが、考えを伺う。</p>			

質問順位	1	質問者	寄谷 猛 男 議員		
件名		項目		要旨	メモ
6. 未来へはばたく子どもたちを育むまちづくり		1. 子育て環境の充実について		<p>1. 育児などでの家計や精神面の負担軽減につながる新たな子育て支援事業を開始し、安心して子育てできる環境の充実を図っている。</p> <p>本市の子育て環境について他市町と比較されることがあるが、他市町との差別化についてどのように認識しているのか見解を伺う。</p>	
7. 市民が活躍するまちづくり		1. 滝川市文化センターについて		<p>1. 新たな文化センターを建設するまでに数年間かかるのであれば現在の施設で使えるものは使い、新設のため財源を確保すべきではないのか。代替施設を利用するメリットについて伺う。</p>	
8. 教育行政		1. 学校教育について		<p>1. 引き続き小・中・高等学校に外国語指導助手(A L T)を配置するとともに、実践的な英会話に挑戦する小学校「英語 de トライ」や中学校「English トライアル」を実施するなどし、外国語教育の充実に取り組むとしているが、これは英語力の習得に力点を置いているようにも見える。次世代を担う子どもたちが異文化に触れ国際的な感覚やコミュニケーション能力を身に付ける取り組みについて考えを伺う。</p>	
				<p>2. 体育授業以外にも仲間と楽しみながら運動に親しむために定期券を購入し頻りに体育館を利用する子どもたちも多い。経済的負担を軽くするなど、子どもたちが仲間や家族連れでコミュニティセンターや体育館を利用しやすい環境づくりも必要と思うが、考えを伺う。</p>	

質問順位	1	質問者	寄谷 猛 男 議員		
件名		項目		要旨	メモ
				<p>3. いじめの防止対策については、SNSによるインターネット上のいじめ、新型コロナウイルス感染症に関連したいじめや差別、偏見などにも対応すべく、未然防止と早期発見・早期対応に努めるとしている。今後新たに取り組もうと考えているものがあるのか伺う。</p>	
				<p>4. 「私物のタブレット端末等を学校に持ち込んで使用するいわゆる「BYOD」に向けたICT機器の拡充」とある。教育環境の整備に個人負担がなじむのか、また、学校・教育分野においてもセキュリティ面や公私の線引きといった点がBYODのデメリットとして指摘されているが、考えを伺う。</p>	